

★安全安心の学校ニュース

●新型コロナウイルス

今週初めから、突然のお知らせで様々なご心配をおかけしています。みなさまの冷静なご対応によって、学校活動が支障なく運営できていることに、感謝いたします。多分、ご心配から学校に個別に問い合わせたいと感じられた方もおられたかと思いますが、今、学校が、その対応に忙殺されると、正常な学校運営をできなくなります。みなさまのご配慮ご協力に、心から感謝いたします。

今回学校として心配した3つの点

1、学校全体の健康の保持

このことがとても大切なことでした。健康に対する判断は、「素人考えで行動すること」が一番危険なことなので、基本は、「保健所、次に医療機関の指示を優先して、判断は全てをゆだねるようにしてきました」。保健所の指示通り、もしくは、そこに、少し念を入れる形で慎重に対応しています。そのうえで河内長野市の教育委員会のアドバイスを受けながら学校の方針を考えていきました。

悪い予想ではありますが、このさき、2月ごろにはさらにインフルエンザも絡んで複雑な感染の爆発も想定されるので、そうなった場合でも、基本は同じ方針で「保健所、次いで医療機関の指示で判断していきたい」と考えています。

2、感染者の人権保護

このことに関しても、生徒のみなさんや保護者のみなさまのご協力に感謝します。全校集会では、基本は、万が一あなた自身が感染した場合に、まわりの人から「こういうことは言わないで欲しい」「こういう対応をして欲しい」ということを考え行動していこうと話しました。

先日、ある保護者からご相談がありました。「子どもが風邪等で欠席するときに、コロナの感染が疑われそうで休みにくいのです」と。私は、休む人がこういった心配をすることがない学校を目指したいです。つまり、この先、コロナ感染であれ、違う理由であれ、誰かが学校を欠席しようとするときに、その人に、欠席を躊躇させるような学校であってはならないということです。私が、再三、感染者が誰かを詮索する行為はやめようというのはそのためです。感染した人もしていない人も体調が悪い時には安心して休めること、そして安心して復帰できること。それが大切です。

さて、心配なのは、様々な理由で休んでいた人が復帰してきたことです。やめてほしいのは、休んでいた人に対して、「何で休んでたの？」と

いう質問です。休んでいた人も「実はこういう理由で休んでいました。」との説明もしないようしてください。周りのみんなには大人の対応をお願いします。それは黙って見守る優しさです。これは、今後ほかの人が感染した場合もそうです。感染者の人権保護のために、何ができるかしっかり考えて行動しましょう。そして、欠席しても安心して復帰できる学校にしましょう。

3. 学校生活の保持

2学期のまとめの時期がきています。授業はとどこおりなくできているか。部活はどうか。成績処理はどうか。3年生の進路対策はどうか。進路懇談や期末懇談はどうか。大事な時期となっています。不要な混乱を避け、これらの学校生活を守り抜くためにも、生徒・保護者・教職員全員の理解と協力が重要です。よろしくお願いします。

●4月・5月・6月の授業日数(時数)回復のために

この春は、みなさんもお存じの通り、長い期間休校や分散登校が続きました。その授業日数(時数)の回復のために、夏休みを大幅に短くしました。また、始業式・終業式の日にもできる限り授業を入れました。そしてこの度、西中学校として、7時間授業を6日間実施しています。プラスワンの授業はなかなか大変ですが、授業内容をきちっと履修していただくために、先生方も頑張っていますのでご協力ください。

●今週末の部活動の休止のお知らせ

現在の状況を考えて、この土日の部活動は中止とします。ご理解ください。平日の部活は実施します。

●時間割変更のお知らせ

12月10日(水)は3年生5限授業で、1・2年生は6限授業でした。

12月14日(月)は全学年7限授業でした。

その二日間の授業を丸々入れ替えます。

そのために、

12月10日(水)は全学年7限授業となり、

12月14日(月)は3年生5限授業で、1・2年生が6限授業です。

教科内容・帰宅時間が変わりますのでご注意ください。

★心のふれあいニュース

ふるさと学1年生の取り組み！！

ふるさと学の学習として先日1年生が市内の名刹「観心寺」を訪れました。観心寺といえば、私は自分自身の小学校の遠足を思い出します。3年生の遠足が、観心寺から延命寺まで歩くコース。4年生は、延命寺から観心寺まで歩くコース???今考えたら「一緒やん!」と思いますが、おかげで遠足の記憶としてこの年まで残っています。

観心寺について、正面の門をくぐると、金堂までまっすぐな階段が続いています。左右の木々が色づき始めていて、良いお天気にも恵まれて、心のリフレッシュができそうだと嬉しくなりました。平日にもかかわらず多くの方が来られていて、写生や写真撮影や散策をされていました。

到着後、早速金堂に入らせていただき、そこでご住職のお話。弘法大師空海さんに関するお話や北斗七星にまつわるお話。そして、楠木正成さんに関するお話。国宝第5号に指定されているご本尊「如意輪観音像」にまつわるお話、お寺の中にある後村上天皇のお墓（お寺に天皇陵があるのは日本で2つだけだそうです）など、さまざまでした。

ご本尊の如意輪観音像は、平安時代に彫刻された素晴らしい木像です。その右足は膝を立て6本の手を持ちます。ご本尊の右手には如意宝珠を持ち、左手は法輪を支えています。如意宝珠とは「意のままに願いをかなえる宝」と言われています。ご本尊の、やや傾いた座り姿、6本の腕が表現するそれぞれの角度からの違った表情、包容力を感じさせる体つきや顔の感じなど、如意輪観音像といえば観心寺といわれるぐらいの人気の仏像です。また、法輪を持つことで煩惱（心の迷い）を打ち消すと言われています。

金堂の横にかやぶきの小さな塔があります。これは建掛塔といわれるもので、楠木正成さんが、この三重塔を建てようとしていたのですが、建てている途中で、神戸の湊川で戦いに敗れ戦死しました。そのため、この三重塔を完成することができませんでした。後に、雨除けのためのかやぶきの屋根が付けられ、今の形になりました。この塔の建設の様子を、楠木正成さんもご覧になられているはずで、同じ塔を時代を超えて私たちが見ていることに感動しました。

お話の後は、昼食。建掛塔周辺で、班ごとに食べます。「校長先生!」といいながら寄ってきてくれる子もいてうれしかったです。そこでのお話。ある子が「こないだ校長先生の話全校集会で聞いたけど、国語のときと違って校長先生が遠くに見えた。」と、少しさびしげに言ってくれました。この自然と湧き出る感性に感動です。まるでご本尊如意輪観音像のように温かいまなざしを向けてくれていて、「どっちが先生かわからんなあ」と感じました。私はこの子たちにそういう自然な温かい接し方を教わっている気がしました。そのあと、別の子が、「校長先生の校長だよりを、いつも読んでるんです。」と言ってくれました。

「塾に行くのが嫌だなんて思うときなんか、校長だより読んで「頑張ろ！」って元気をもらってるんです。」と。改めて思いました。教師になって良かったって。教師のがんばりを素直に認めてくれて、それを素直に表現してくれる。中学校という貴重な時期に「人と温かい気持ちで接する」という大切なものを学んでくれているのが無性にうれしいです。この行事の最後に、「校長先生からの挨拶」ということで、話をさせてもらっていると、数名の生徒たちが話している最中に私の方々にじり寄り寄ってきます。まるで「だるまさんが転んだ！」のゲームのようです。話し終わると、私を囲む生徒の輪ができていました。私はこの2月で57歳です。定年までにあと3年と少し。子どもたちとのふれあいを大事に、貴重な時間を無駄にしないように頑張ります。1日1時間を大切にかみしめて、教師生活を送りたいと思っています。

音楽の研究授業！！

先日、音楽の山田先生の研究授業がありました。教育委員会から指導主事的小林先生がお見えになり、子ども教育支援センターからも宮嶋先生がお見えになりました。小林先生は音楽のエキスパートで、宮嶋先生は私が東中のときに校長先生としてお世話になった、いわば私の目標とする（遠く及んでいませんが）厳しさの中に温かさを秘められた、河内長野の教育のスーパースターです。その方がお見えになるということで、朝からドキドキしながら同時に大変うれしい気持ちでお待ちしていました。本校の学習指導部長である小林先生も加えて、1年B組の音楽の授業が始まりました。

さて音楽の授業。早速始まったのは、みんなで赤とんぼを歌うことでした。コロナの関係で、歌うことを制限されてきた中で、様々な努力や紆余曲折を経て、合唱にチャレンジしはじめています。本来は、合唱は人が密集して歌う方が声が出るのですが、少し距離を取っての合唱でした。

そのあとは、その赤とんぼの歌詞についての勉強です。小さいころから聞きなじみがあっただけに、私も大体はこの歌を知っています。しかし、一言一言この歌の歌詞をかみしめるように読んだことがありませんでした。というか、アップテンポの曲がはやる時代のこの子らが、どこまでこの曲に興味をもてるのか、心配でした。しかし、それは杞憂（故事成語で習いましたね）でした。ぽんぽんと意見が飛び交い、特にクライマックスの「15でねえやが」のところで、ねえやは実の姉のことではないと知ってびっくり仰天。それにしてもこの短い歌の中に、どれほどの美しい情景と人の思いが歌詞や曲として表現されているか、そしてそれを感性豊かに感じとって行く生徒の様子。そこを辛抱強く引き出すように教える先生の巧みな技。まるで授業という作品を見ているよう

でした。感動しました。

家庭科の調理実習！！

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、音楽の歌唱指導同様、家庭科の調理実習もなかなか実施できませんでした。そんな中で、どんなコロナ対策がとれるか、あれこれ考えて実施に踏み切りました。

- 1、 実施前の健康観察の徹底。
- 2、 手洗い消毒の徹底。
- 3、 マスクの着用の徹底。
- 4、 クラスを半分に分けて生徒の人数を少なくして実施。
- 5、 みなで共通のものを食べるのではなく、それぞれが自分の食べるものをつくるメニューにする。
- 6、 調理道具の共有をできる限り避ける。

以上のような対策を実施し、コロナの状況だからあきらめるのではなく、コロナの状況下でいかに工夫して安全に実施するかということを考えて実行しました。

本番は、給食センターから食育の指導ということで1名来ていただきました。ガスや調理道具の使い方などを教わり、衛生面の確認もしていただきました。また、ハートフルアシスタントの田中さんや学年主任の廣上先生も入り、安全に、いい焼き色で見たいも味もおいしいフレンチトーストができました。一生懸命洗い物をする生徒の姿も見え、うれしい取り組みとなりました。